

教材名「るっぺ、どうしたの」

(教育出版 2年 p26 「自分自身に関すること」 節度、節制 日文 2年 p154 「自分自身に関すること」 節度、節制 あかつき 2年 p4 「自分自身に関すること」 節度、節制 )

1. 本教材について

▼本教材は、ほぼそのまま、「私たちの道徳」にも掲載されている。るっぺくんのような子どもが現実のクラスにいて、その対応に苦慮している教師はこの教材を子どもたちに見せないようにしているという。しかし、大人はるっぺくんのような子どもを、指導しなければならない存在としてしか見ないかもしれないが、子どもは必ずしも大人と同じように見るわけではない。そういう意味ではまずは教師がるっぺくんのような子どもをひとまず受け入れ、共感的に見ていく必要がある。

▼この授業はそういう試みの一つとして位置づけたい。

2. 本教材を扱う際に、特に注意すべきだと考えたこと

▼教科書には「るっぺくんのようにならないようにするために、自分はどうすればよいか、みんなで話し合ってみよう」などといった設問があるが、こうした設問は「るっぺくんはどうしてすなをなげたりするのか」よく聞いてみようなどと作りかえると良い。

3. 指導過程

	子どもの活動や教師の発問等	留意点
導 入	教科書を読む。	教師が読むのでも生徒が読むのでも良い。
展 開	<p>1. るっぺくんが起きられないシーンについて 朝起きるのが苦手な人はいるかな？ るっぺくんが朝起きられない理由は何だと思う？ 学校に行くのが嫌なのかもしれない、なぜ嫌なんだろう いじめられているかもしれない</p> <p>2. るっぺくんは靴をきちんと履けないシーン 靴をきちんと履けない人はいないかな？ ひもを結べない人は？とっても不器用な人は？ るっぺくんのようにランドセルからいろいろなものが飛び出したらどんな気持ちになるかな？</p> <p>3. るっぺくんが砂を投げているシーン るっぺくんは何が気にいらぬのか、と書いてあるけど気に入らないことがあるなら聞いてあげるべきじゃないかな？ 人がやることには必ず理由があるよ。るっぺくんが砂を投げる理由にはどんなことが考えられる？</p>	教師は、いろいろな事情、理由が考えられる、ということを踏まえて発問する
ま と め	この世界にはいろいろな子どもがいることを説明してまとめたい。	

4. 参考資料      なし